
あるおとこ

以瑠 憂理

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あるおとこ

【Nコード】

N5377F

【作者名】

以瑠 憂理

【あらすじ】

おくさんをお金もちにしてやりたいおとこは、きんをほりはじめました。

むかしむかし、あるところにおとことそのおくさんがいました。

おとこはいいました。

「おまえをぜったいにお金もちにしてあげる。だからそれまで、どのくらいかかるかわからないけれど、がまんしてくれ」
おくさんはまぢました。

おとこは土をほりました。

おとこは山をほりました。

おとこはけついしていたのです。

「かならずおれはきんをみつけて、あいつをお金もちにしてやるんだ」

おとこはほりつづけました。

ある日、どうをみつめました。でも、

「ちがう、おれのほしいのはきんなんだ」

おとこは友だちにどうがほれる山をゆずってしまいました。

おとこはほりつづけました。

ある日、ぎんをみつめました。でも、

「ちがう、ぎんをさがしているんだ。これじゃない」

おとこはぎんがとれるほらあなを、友だちにゆずってしまいました。

きんでなければ、きんでなければ。

まい日空っぽのつつみをもってかえるおとこを、おくさんはやさしくむかえ、あたたかいスープをつくってくれました。

おとこはあせるいっぽうでした。

あいつのために、あいつのために
そうおもつのに、そうねがうのに。

いっこうにぎんはみつかりません。

おとこはだんだん、山にこもってほりつづけるようになりました。
いち日がふつ日に、みっ日になりました。

ある日、おとこは山でたおれてしまいました。

もういっしゅうかんもいえにかえっていません。そのあいだもずっ

と、なにもたべていません。

もうちからがはいりませんでした。

そのときでした。

たおれたそのじめんいきんのかけらをみつけたのは。

でも、やっぱりちからははいりませんでした。

あとすこしでおくさんをお金もちにしてあげられたのに。

あとちよつとだったのに。

おとこはなみだをながしました。

おとこはなみだをながしました。

そしておとこはしにました。

さいごまでおとこにふりむかなかったかみさまも、すこしおとこが
きのどくになりました。

そこで、おとこのしんだやまにおとこのなをつけました。
かみのけは木に、からだはみねに、ほねはいわになりました。なみ
だも川になって、山にあったきんは川にながれました。

川はきんをはこびながら、おくさんの待つ家のすぐわきまでつづきました。

ながれてくるきんのおかげで、おくさんはそのうちにお金もちになりました。

おくさんはまい日スープをつくっておとこをまちつづけました。

いつまでも、いつまでもいつまでも、まちつづけました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5377f/>

あるおとこ

2010年12月1日07時17分発行